

道

2022・6・8

通信 No 1686

関東も梅雨入りですね



ガクアジサイ

《今日の練習》 小坂先生 二宮先生

・二つの岸 ・わが想いわが詩(他の楽譜も持参ください)

※「向こうの小川で」本日楽譜配布します。新歌詞です。必ずお取りください。

《次回 6 月 15 日の練習》 清水先生 小坂先生 吉野町市民プラザホール

・モルダウ ・ワクワク (新曲) 他の楽譜も持参ください

【私の映画三題】

バス 堀内俊昭

＜その一＞

中学 2 年の一学期、新しく編成されたクラスにずっと休んでいる女生徒がいました。その生徒は妹とともに映画に出ていると聞きました。

映画の題名は「二十四の瞳」、主演の小学校教師は高峰秀子。小豆島を舞台に子供たちと戦争を挟んでの物語。12 人の成長のうつりかわりをそれぞれの兄弟、姉妹で演じていました。

2 学期からはもどって来たと思いますが、クラスは 54 名と多人数で本人から映画の話は聞いた事はありませんでした。

小豆島の映画村はまだ行ったことがありません。

＜その二＞

私の娘が 7 歳の頃に箱根駅伝によく出てくる権太坂頂上付近の団地に住んでいました。

そこに家族ぐるみの付き合いの人ができました。ある時その人から娘を映画に応募させないかと言われました。私は意外な話だったのでとっさに断りました。

その映画のタイトルは「ガラスのうさぎ」で高木敏子が原作、少女が主人公でした。その人は「ガラスのうさぎ」のプロデューサー、をしていました。

最近、家族の話の中で、あのとき「お願いします」と言っていたらお前の人生は変わっていたかもしれない、などと冗談を言い合いました。

原作の本は家にあるけど読んだことがありません。

＜その三＞

昔、川崎勤労者音楽協議会（労音）に所属していたころ、映画を作る話が持ち上がっていました。各地から大都市に来ていた青年男女がベートーベン作曲の「第 9 番」を歌うという物語でタイトルは「俺たちの交響楽」、山田洋次監督の弟子の浅間義隆さんが監督。

出演は武田鉄矢、友里千賀子、倍賞千恵子、渥美清も少しでました。大船にあった撮影所で練習風景をとり映画街で夜の風景を撮りました。

演奏会撮影には「道」の岡田さんも聴衆として参加していたそうです。

運営委員会予定 2022 年 7 月 6 日 (水) 14 時 30 分～17 時 00 分

県民サポートセンター 709 号室